


事業体（団体）名	横浜市水道局
事業名称	ベトナム国フ工省水道公社との二者覚書事業
実施期間	2017年7月～2019年12月
主催機関	横浜市水道局
事業概要・目的	<p>15年にわたり協力関係を築いてきたフ工省水道公社と、2017年7月に新たに2者間の覚書を締結しました。この覚書に基づき、浄水場の改善や研修コースの整備等の技術協力を進めるとともに、同公社の協力を得て、横浜水ビジネス協議会（※）会員企業のベトナム国におけるビジネス展開を支援しました。</p> <p>※ 上下水道の海外水ビジネス展開の推進を目的に、平成23年に設立された市内企業等による会員組織。令和2年3月末時点で176社が登録。</p> <p>1. 実施形態</p> <p>(1) 職員派遣（現地での調査・打合せ・技術指導・ワークショップ開催など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年6月、2019年5月に約1週間の職員派遣を行い、給配水、浄水・水質、設備分野で技術協力 <p>(2) 本邦受入（研修・視察・協議）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年3月に幹部2名が来日し活動計画を策定した他、管路研修施設の見学、人材育成の研修を実施 ・2018年9月に給配水、浄水・水質の2分野で計研修員4名を受け入れ、研修を実施 ・2019年4月にフ工省人民委員会幹部及びフ工省水道公社会長が来日し、事業の進捗を確認 <p>(3) ビジネス支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年7月6日に、横浜水ビジネス協議会会員企業6社が参加した「水ビジネス推進セミナー」を横浜市水道局、横浜水ビジネス協議会、フ工省水道公社の共催によりフ工市で開催しました。会員企業によるプレゼンテーション、展示会を実施し、ベトナムの水道事業体等から58団体165人が参加しました。 ・幹部や研修員の来日時及び2018年9月のIWA東京、VietWater等の展示会にて横浜水ビジネス協議会会員企業とのビジネスマッチングを実施しました。 <p>2. 事業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水管網構築 ・無収水対策 ・浄水方法改善 ・SCADAシステム ・データ管理
対象（相手）国・機関名	ベトナム国フ工省水道公社等
<div style="text-align: center;">  <p>配水管理についての打ち合わせ</p> </div>	

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
実施期間	2019年6月24日～7月25日
主催機関	国際協力機構（JICA）、横浜ウォーター株式会社、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、平成20年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）を契機として、JICAと協力して、課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」コースの受入を開始しました。約1か月のコースで、令和元年度までに13回実施し、30か国から133人を受け入れています。</p> <p>アフリカでは、現在も多くの国で水道事業に関する課題を抱えており、アフリカ開発会議でも毎回テーマとして取り上げられています。参加国の多くは、お客さまに配っている水のうち30～50%が漏水や盗水などで収入に結びつかないなどの課題に直面しています。</p> <p>水道局では、浄水処理や水質管理、水圧・水量・水質などの配水管理、水道計画、施設管理などの技術面に加え、料金管理や顧客管理、顧客サービス、経営計画など、水道事業全般の講義を行っています。参加者は、講義や実習で学んだことを踏まえて研修の中で自らの課題解決のための活動計画を策定し、自国に持ち帰って自らの取組みに繋がります。</p> <p>【令和元年度の具体的な研修の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水源、浄水場などの水道施設の視察及び水源管理、浄水処理、水質管理の講義 ・ 水安全計画やアセットマネジメントなどの取り組みの講義 ・ 無収水対策の講義及び管路研修施設を活用した漏水探查実習 ・ 横浜市水道記念館や技術資料館での日本及び横浜の水道の歴史の学習 ・ 図面管理、配水管理、水道メーター管理の講義 ・ 水道工事の工事現場視察及び施工管理の講義 ・ 出前水道教室への参加や小学生との交流 ・ 経営計画、検針・料金徴収、顧客サービスに関する講義や意見交換 ほか
対象（相手）国・機関名	令和元年度の研修員 8名：ウガンダ（1）、エチオピア（1）、ケニア（1）、ナイジェリア（1）、ベナン（1）、マラウイ（2）、ルワンダ（1）



配水模型を用いた配水管理の実習



局職員とのデータ管理に関する意見交換会

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	マラウイ共和国ブランタイヤ水公社支援のためのJICAボランティア連携事業
実施期間	2020年1月19日～2月29日（6週間）
主催機関	国際協力機構（JICA）、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、JICA短期ボランティア制度を活用して、毎年、マラウイ国のブランタイヤ水公社に職員を派遣しています。なお、マラウイ国ブランタイヤ水公社への職員派遣は平成26年度に開始しました。</p> <p>これまで、平成26年度から28年度までの3年間でブランタイヤ水公社に9名の職員を派遣し、漏水管理や料金徴収の改善等に関する協力を行ってきました。その後、ブランタイヤ水公社から派遣の継続に対する強い要望を受け、平成29年度から今回まで、さらに11名の職員を派遣しています。</p> <p>【令和元年度の派遣の概要】</p> <p>ブランタイヤ市内のBaluti地区をモデル地区に無収水（漏水や盗水などで収入にならない水）の測定やその削減、図面作成の手法を指導しました。合わせて、水理解析や水利用状況調査について指導しました。</p> <p>施工管理に関しては、ワークショップを開催し、課題を抽出・共有しました。また、過年度に作成したマニュアルに施工管理のSOPを追加したハンドブックを作成しました。</p> <p>料金管理分野では、過年度に作成したマニュアルを更新し、ワークショップを実施、課題と解決策について話し合いました。</p>
対象（相手）国・機関名	マラウイ国ブランタイヤ水公社（BWB）



料金管理ワークショップ



水圧調査の様子

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト「リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト（LiSCaP）」
実施期間	2019年6月21日から4年間
主催機関	国際協力機構（JICA）、株式会社協和コンサルタンツ、横浜ウォーター株式会社、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、令和元年6月よりJICA技術協カプロジェクト「リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト（通称LiSCaP）」に長期専門家を派遣し、プロジェクトを支援しています。</p> <p>横浜市水道局はプロジェクトの総括として長期専門家を配置し、横浜水ビジネス協議会員である株式会社協和コンサルタンツと横浜ウォーター株式会社と連携して、チーム横浜で、マラウイ水事業の改善に取り組んでいます。</p> <p>プロジェクトでは、無収水（漏水や盗水などの収入にならない水）を削減するための計画の策定、削減手法の習得、それらの知見の共有・発信などを指導していきます。</p> <p>【令和元年度の具体的な活動の内容】</p> <p>6月20日より総括・無収水管理の長期専門家として職員1名をマラウイ国に派遣しました。プロジェクトでは、リロングウェ水公社全体の無収水対策の現状を分析しているところです。また、パイロット地区を設定し、現状調査に着手しています。</p> <p>局内にはサポートチームを設置し、長期専門家を横浜からサポートしています。また、9月23日から26日にリロングウェ市で開催されたワークショップに職員を派遣し、横浜市水道局の取組を紹介しました。本邦研修として、10月23日から30日まで、幹部を横浜に招へいし、無収水対策や配水管理、顧客管理、経営計画などの講義を実施しました。</p>
対象（相手）国・機関名	マラウイ国リロングウェ水公社（LWB）



先方政府との協議



水道メーター設置の指導

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	マラウイ国ブランタイヤ水公社への給水車の寄贈
実施期間	2017年度から2019年度
主催機関	横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、JICA短期ボランティア制度を活用して、平成26年度からマラウイ国ブランタイヤ水公社に職員を派遣し、現地を支援しています。その中で、頻繁に起こる断水への対応のため、更新時期を迎える水道局の給水車の寄贈を職員が発案しました。</p> <p>日本からマラウイ国までの国外輸送にあたっては、ブランタイヤと関係が深く、車両輸送のノウハウがある株式会社ビィ・フォアードの協力を得て、給水車を2台寄贈しました。</p> <p>【寄贈された給水車の活用について】</p> <p>ブランタイヤ水公社の水源から市内までは、800メートルの高低差があり、市内への給水にはたくさんのポンプアップを必要とします。このため、一度停電が発生すると、長時間断水となります。断水は日常的に発生しており、派遣職員の活動中にも何度も断水がありました。</p> <p>今回寄贈する給水車を活用し、ブランタイヤ水公社が断水中のお客様に運搬給水を行うことで、お客様の信頼回復やサービスの向上が期待されます。</p> <p>【2019年度の具体的な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水車寄贈式：2019年6月21日 ・給水車の輸送
対象（相手）国・機関名	マラウイ国ブランタイヤ水公社



給水車寄贈式典の様子



ブランタイヤでの給水車の活用状況

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	---------------

事業名称	水道局独自「ファイサラバード上下水道局との技術交流の覚書事業」
実施期間	2019年10月～2020年3月（毎年度更新予定）
主催機関	横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局は、横浜ウォーター株式会社と連携し、JICA開発計画調査型技術協力「ファイサラバード上下水道・排水マスタープランプロジェクト」（2016年7月～2019年6月）を進める中で、支援先であるファイサラバード上下水道局（WASA-F）の総裁より、人材育成の観点から、更なる自治体連携の要望を受けました。相互の人材育成と水ビジネスの促進に資することから、2019年10月に「WASA-Fと当局との技術交流の覚書」を締結し、2度の研修を実施しました。</p> <p>【覚書の内容】</p> <p>(1) WASA-Fからの研修員受入（年1回、約4名、2週間程度）</p> <p>(2) （必要に応じて）当局職員のWASA-Fへの派遣と研修内容のフォローアップ</p> <p>(3) 横浜水ビジネス協議会会員企業の技術・製品の紹介</p> <p>【令和元年度の具体的な研修の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部招聘（2019年9月30日～10月5日 WASA-F総裁と副議長の2名） <ul style="list-style-type: none"> - 覚書締結式：2019年10月2日 - 横浜水ビジネス協議会会員企業の5社にビジネスマッチングの機会提供 ・ 第1回目研修員受入事業（2020年1月19日～2月1日 課長級2名、職員2名の計4名） <ul style="list-style-type: none"> - 横浜水ビジネス協議会会員企業の5社にビジネスマッチングの機会提供
対象（相手）国・機関名	パキスタン国ファイサラバード上下水道局



覚書締結式



漏水調査実習